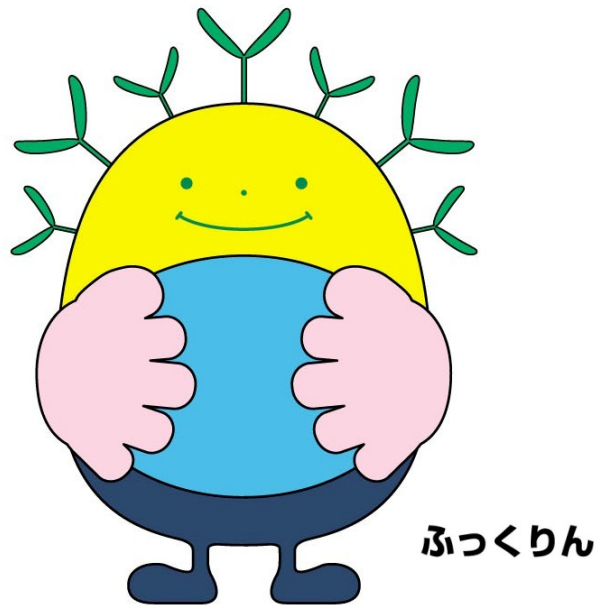


平成29年度
ふくいの木の利用の促進に関する施策の実施状況



1 県産材の利用推進

- ・木材関係団体と県が共動し、県産材の利用を推進する「ふくいの木使ってもらい隊」を8月に結成し、企業等に107社訪問
- ・ふくいの木の利用推進月間の10月に「みんなでつかおう『ふくいの木』の祭典」を開催し、11,000人が来場
- ・平成30年秋にオープン之年縞博物館やえちぜん鉄道福井駅舎に県産材を利用



ふくいの木使ってもらい隊



みんなでつかおう「ふくいの木」の祭典
(総合グリーンセンター)



年縞博物館 (若狭町)

2 新たな分野での利用開拓

- ・国内最大規模の展示会「ジャパンホームショー」などへの出展や商談会など、販路を開拓
- ・オフィス空間に商談スペースなどの新たな空間をつくる「ボックスinボックス」を2箇所設置
- ・県内の建築士等450名に対し「ボックスinボックス」を新たな利用方法として提案
- ・県内の建設会社の社屋にCLT(直交集成材)を使用



大規模展示会への出展（東京都）



ボックスinボックス（福井市）



CLT建築（坂井市）

3 合板、集成材、木質バイオマスでの利用拡大

- ・合板や集成材工場、木質バイオマス発電施設に対し、間伐材を安定的に供給
- ・池田町、南越前町に原木を集積するウッドストック等を整備し、A、B、C材に仕分け大型工場等に輸送
- ・坂井地域では、温泉3施設の木質バイオマスボイラーに間伐材チップを供給し熱利用を推進



福井県産スギ合板
(合板工場：県外)



ウッドストック
(南越前町燧)



木質バイオマスボイラー
(あわら市)